



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

振替 00180-4-75788

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

内閣総理大臣 高市早苗様

伊勢神宮参拝に抗議する

私たち日本キリスト教協議会(NCC)靖国神社問題委員会は2025年12月10日付で「年頭の伊勢神宮参拝をしない」よう要請した。しかしながら、2026年1月5日午後、伊勢神宮を参拝した。

いうまでもなく伊勢神宮参拝は、公的立場にある者が「いかなる宗教的活動もしてはならない」とする、日本国憲法第20条3項の「政教分離の原則」に反することであり、毎年くり返されている首相らによる新年の伊勢神宮参拝は、明らかな違憲行為である。さらに新年の伊勢神宮参拝後に、マスコミを前にして記者会見まで開き、あたかも国の当然の行事であるかのような行為を私たちは断じて見過ごせない。そのゆえに、毎年首相に宛て伊勢神宮参拝をしないよう要請してきた。それにもかかわらず今年も、あなたを始め、閣僚や国会議員等が伊勢神宮参拝を行ったことに対して、改めて強く抗議する。

伊勢神宮は、皇室の祖先神が祀られているとされ、戦前は靖国神社と共に国家神道を支える重要な役割を果たした。戦後、伊勢神宮は国から完全に切り離されたが、現在は約8万とされる各地の神社の本宗として、重要な位置を持ち役割を果たす特定の宗教施設である。

先のアジア・太平洋戦争時において、日本人の多くは天皇制軍国主義に苦しめられた。それにも増してアジア諸国の人々は、日本軍の侵略行為によって甚大な被害を受け、大きな犠牲を強いられた。侵略した国々には次々と「神社・神宮」を建て、参拝を強制・強要したことは歴史的事実である。しかもその果てに、参拝を拒否したために投獄され、死に至った人々の苦難の歴史があることを私たち加害者である日本国・日本人は忘れてはならない。

こうした視点に立つと、あなたの伊勢神宮参拝は、あの忌まわしい戦争の責任を不問にすることに通じるだけでなく、多くのアジアの人々に大きな不信感を抱かせ、深く傷つけていることとなる。今後求められるのは、隣国との和解や友好の促進、地球規模の視野に立つ共存社会の実現である。しかしながら、伊勢神宮参拝は、その形成に大きな阻害要因になることは明らかである。

私たちは、今回のあなたの伊勢神宮参拝も、国と天皇制との結びつきをさらに強化し、伊勢神宮を国の宗教施設とすることへ道を開くきっかけとなることを危惧する。

今後、二度と伊勢神宮を始め、靖国神社、その他諸神社等への参拝だけでなく、一切の特定宗教への関わりをしないよう、強く求め、今回の伊勢神宮参拝に改めて抗議する。

2026年1月5日

日本キリスト教協議会(NCC)靖国神社問題委員会
委員長 関 伸子